



キヌアの種まき作業を実施

(4月25日)

パノラマロード沿いの畑でキヌアの種まき作業が行われ、須山地区農事組合の会員らが参加しました。昨年度の試験栽培で収穫した種を8種類に仕分けし、種類ごとに直まきとポットからの移植作業を行いました。株間や畝立てなどを工夫しながら、試験ほ場に適した品種・時期などの研究を続けていきます。

健康のために歩こう

(4月28日)

寄り道ウォーキングが福祉保健会館を起点として開催されました。寄り道ウォーキングは、歩くことの楽しさや爽快感を体験し、日頃の生活の中で運動習慣を取り入れることができるよう、気軽にできるウォーキング事業です。64人の参加者は、約4kmある深良ゆかりのコースをウォーキングしました。



マスク1,000枚を市に寄付

(5月1日)

商工会青年部は市役所を訪れ、マスク1,000枚を寄付しました。寄付されたマスクは同会部員が拠出した部費を使い、準備したものです。高村市長は「貴重なマスクをありがとうございます。有効に活用します。事態終息後の商売繁盛を願っています」と感謝を伝えました。

フェイスガード1,000個を市に寄付 (5月18日)

裾野ロータリークラブは市役所を訪れ、フェイスガード1,000個を寄付しました。会長の杉山千恵さんは「フェイスガードは、飛沫感染を防ぐことができます。最前線で住んでいる人に対応している福祉や医療、教育関係、市職員などの飛沫感染を防ぐのに使ってください」と述べました。

